

ま  
じ  
め  
か



TEAM FUJISAWA SEIRYU

藤沢清流高校の散歩

Since 2010

May 2013

格 好 い い



\*\*\* 5月号 \*\*\*

爽やかな5月の風とともに、藤沢清流高校の生徒たちの勉強や部活への取り組みがますます盛んになります。今月は小・中・高の三校交流もスタートしました。

◆アクティブラーニング研修会が開かれました

神奈川県では平成25年度から3カ年の計画で、「県立高校教育力推進事業ver.Ⅱ」をスタートさせます。本校は、「確かな学力向上推進」（アクティブラーニングに基づく学力向上推進）をテーマとした研究推進校に指定されました。

5月1日(水)午後、「アクティブラーニング型授業のいっそうの推進を図る」ことを目的とし、研修会を実施しました。



講師は元埼玉県立越ヶ谷高校教諭の小林昭文先生。2時間半のプログラムでは、教職員が「アクティブラーニング（能

本校の全教員と、教育連携をしている産業能率大担当者、総合教育センター職員、などの方々とともに研修に参加しました。

動的学習）」型授業を体験的に理解し、これまで行ってきた自身の授業を振り返りながら、新たな授業実践への手がかりを模索し、個人、班、そして全体で、様々な気づきを共有するというものでした。参加者間でのコミュニケーションが役立つ、今後さらなる組織的な授業改善に繋がることを期待できる、実り多き研修会となりました。



講師の小林先生のご専門は物理。研修では全員が生徒の立場で物理の問題を解きました。

講師の小林先生のご専門は物理。研修では全員が生徒の立場で物理の問題を解きました。

◆社会福祉援助技術の校外授業が行われました

5月2日(木)、社会福祉援助技術の校外授業が行われました。この日は、学校を出発し、小田急線藤沢本町駅を基点として、実際に車椅子の乗車体験と、街頭での操作に関する授業が行われました。車椅子に乗った状態で鉄道の切符を購入したり、実際に公道での通行を体験し、どのよ



小田急藤沢本町の駅前で。実際に車椅子に乗り講師の先生から注意事項を聞きます。



実際の道路を車椅子で移動するとさまざまな問題に気づきます。

うな点に気を配らなければならないか、などを学びました。車椅子で道路を通行すると、普段の歩行中には気づかないものが車椅子では通行の妨げになることを実感することができました。

今回の体験は、5月22日に予定されている藤沢市の土木課の方をお招きしての特別授業に結び付けられます。

◆三校交流でグリーン活動が行われました

5月7日(火)、三校交流の一環として境川沿いの土手を花で彩る、グリーン活動が行われました。

本校は隣接する大清水中学校、大清水小学校との三校でさまざまな交流活動を行っています。この日は大清水中学校の生徒とともに、藤沢清流高校前から大清水中学校前までの、境川沿いの土手にひまわりの苗を植えるための準備として、除草作業と耕し、そして施肥が行われました。

当日は良い天候に恵まれ、和気あいあいとした雰囲気の中、中高の生徒たちが協力して無事作業を終えることができました。耕された土手には、5月中旬にひまわりの苗が植えられる予定です。



中学生、高校生、そして教員も力を合わせて耕しました。



引き抜かれた草は袋につめられ山積みになりました。

◆3年次生進路別講演会が行われました

5月7日(火)、3年次生を対象に「進路別講演会」が実施されました。

これは、3年次生が大きな4つの進路希望分野（「大学・短大」、「専門学校」、「看護・医療系」、「就職(公務員・民間企業)」）に分かれ、今後の受験対策についてそれぞれ専門の先生方からお話を聴き、受験の具体的なノウハウを再確認するためのものです。

「大学・短大」分野には城南予備校、「専門学校」分野には教育弘報研究所、「看護・医療系」分野には新宿セミナー横浜校、そして、「就職」分野には大原簿記法律専門学校町田校から、それぞれの分野に精通している先生方をお招きしました。熱い講演に、生徒たちはこれからの進路活動を意識し、メモを取りながら熱心に耳を傾けていました。



大学進学希望者は体育館で城南予備校、高橋先生より受験の心構えを指導していただきました。



専門学校希望の生徒へは、学校による授業時間数の違いなど、学校選びのポイントが説明されました。

(文責 副校長・勝山)